

「呉モデル」

海上自衛隊と地方公共団体、呉市との共生

2007.7.10

株式会社岡根谷
田村政信

株式会社岡根谷について



当社は1936年(昭和11年)に、富士宮の岡根谷酒造の富士支店として富士市本町14番29号の現在地にて酒類販売を中心に創業、その後、酒類・食材の卸販売に業態転換し、地域社会の人々にご愛顧されてきました。

昨今、酒類販売を巡る環境は大きく変わってきております。規制緩和を起因とする全国規模のディスカウントストアの進出による流通・販売経路の変化は当社の事業内容に大きな影響を与え、従来の酒類卸販売中心の業容では、大幅な事業の発展は望めない状況でありました。

このような中、1999年(平成11年)に開発・販売を始めた「パンの缶詰」(その後「ケーキの缶詰も発売」)は、非常食の常識を変え、昨年度においては50万缶を超える出荷実績を打ち立て、当社の主力商品になりつつあります。

株式会社岡根谷について



株式会社 岡根谷
代表取締役 田村政信

A stylized, handwritten signature in black ink that reads "M. Tamura".

■プロフィール

昭和22年生まれ 昭和50年早稲田大学大学院商学研究科修士課程修了
翌年より酒類輸入・食品商社 株式会社 岡根谷専務取締役

平成8年東京経済大学大学院経営学研究科修士課程を修了

平成16年7月31日付で代表取締役社長に就任

富士フェニックス短期大学において非常勤講師として「マクロ経済学」を教授

税理士資格を取得 税理士事務所を開業

静岡家庭裁判所所属 家事調停委員

日本租税理論学会会員、「税理士葵会」理事

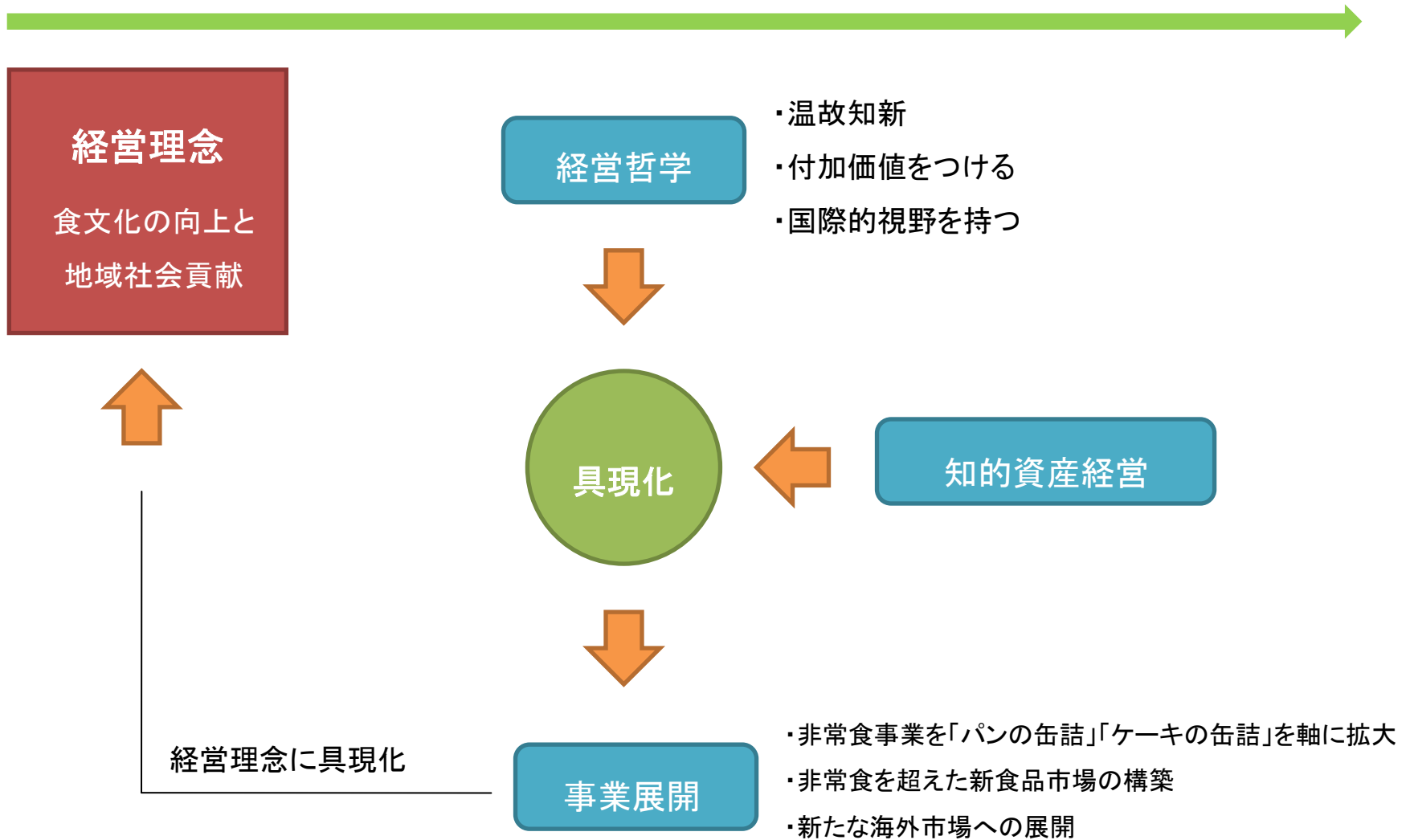
防衛政策懇話会 会員

防衛庁 陸上自衛隊 東部方面隊オピニオンリーダーとなり、2期4年の任期が
終了し、そのシニア団体である防衛省 陸上自衛隊 東部方面隊 東桜会に平成
19年4月1日より所属

静岡県防衛協会常任理事及び東部支部副支部長に就任

(社)岳南法人会理事及び税制委員会委員長

経営理念



自社製品

■防衛省



■江田島



■駐屯地及び基地



■大和ミュージアム



自衛隊バージョン

自社製品

■ 防衛大学



■ 自衛隊観艦式(行事)



■ 祝防衛省(行事)



自衛隊バージョン

自社製品

■富士山



■国会議事堂



■富士山登頂記念



■タミヤ



■ボランティア

民間取引先

呉の歴史



軍港として栄えた半世紀余りの歴史を礎に
21世紀へと向かう新たなる海洋拠点・呉港

明治19年(1886年)に第二海軍区軍港に指定され、明治22年(1889年)呉鎮守府の開庁とともに、本格的な海軍軍事基地の建設が進められ、その後、累次の基地拡張と人口の急増によって第二次世界大戦中は人口40万人と日本一の海軍工廠を擁する都市として発展。

第二次世界大戦中は、帝国海軍の拠点でもあり、当時は全国10大都市に数えられるほどの実に40万人を越える人口を抱えていた。

こうした中で、昭和25年(1950年)に「旧軍港市転換法」が制定され、旧軍施設への積極的な企業誘致が行われ、造船、鉄鋼、機械金属、パルプ等の企業が相次いで進出し、臨海工業地帯としての基盤を確立。

呉港は昭和26年(1951年)に重要港湾になり、昭和27年(1952年)には呉市が港湾管理者となって港を自主的に運営。



海軍とのかかわり

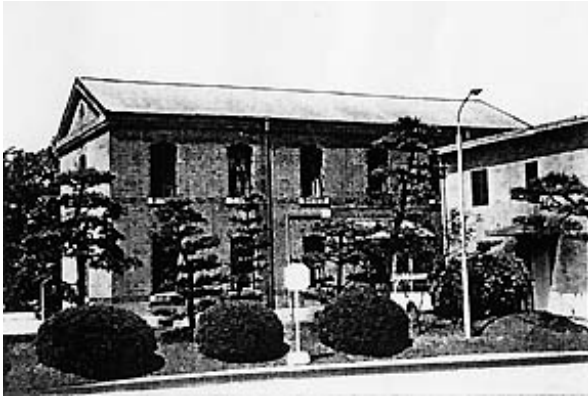


レンガ造の倉庫群

呉海軍工廠の前身である呉海軍造兵廠時代<1897~1903(明治30~36)年>に建てられたもの

明治時代には第二海軍区鎮守府(呉鎮守府、通称「呉鎮」)が開庁された。戦中は呉海軍工廠において「戦艦大和」などが建造され、東洋一の軍港・日本一の工廠として知られていた。呉海軍工廠は造船技術の卓越は言うまでもなく、早くから出雲安来の和鋼に着目し、特殊鋼として応用するなどの先端的な軍需鉄鋼研究の拠点でもあった。鉄鋼関係の技術はJFEや日新製鋼などの大手鉄鋼メーカーに引き継がれ、また軍事拠点の流れとしては護衛艦隊、潜水艦隊や練習艦などが所属する海上自衛隊呉基地があり、その敷地内には海上自衛隊呉地方総監部が設置されている。旧海軍呉鎮庁舎は呉地方総監部第一庁舎として使用され、休日には一般公開されている。

海軍とのかかわり



海上自衛隊呉補給所庁舎



海上自衛隊呉調査隊庁舎



石川島播磨重工業(株)造船倉庫
(工廠造船部鑄造工場)



呉貿倉庫運輸(株)3号倉庫(造兵廠製品
置場、大砲庫及び魚形水雷調整室)

戦艦大和



宿毛湾沖標柱間にて公試中の大和(1941年10月30日撮影)

戦艦大和



呉海軍工廠で建造中の大和(1941年9月20日)

敗戦後の呉



戦中に培った技術を平和利用

旧軍港の呉は戦後、官民挙げて「旧軍港市転換法(軍転法)」の制定運動を推し進め、「平和産業港湾都市」への脱皮を目指した。



呉海軍工廠は日露戦争前夜の1903年(明治36年)に発足し、やがて日本が自前で弩級艦を建造できるようになると、それに応じて国内最大の建造拠点に拡張されていった。

大戦末期には呉も大規模な空襲を受けたが、米軍は戦後の接收を考慮して海軍工廠のうち造船所の部分は爆撃目標から除外していたため、大きな被害は受けないまま終戦を迎えている。

戦後、「旧軍港市転換法」などの施策により施設群は民間企業に引き継がれ、大和建造ドックからは巨大タンカーが続々と送り出された。呉は今なお世界有数の建造拠点として稼働しており、特に近年は中国等の旺盛な需要に支えられ、希にみる活況を呈している。

現代 ～ 観光都市としての呉市 ～



大和ミュージアム

大和ミュージアム



大和ミュージアム



海上自衛隊 呉地方総監部 二等海佐 中橋明光殿とともに
2007年1月16日海上自衛隊 呉地方総監部にて

海上自衛隊呉史料館



海上自衛隊呉史料館(JMSDF Kure Museum)

海上自衛隊の諸施設を利用
新たな施設 → 観光都市「呉」を創出

海上自衛隊呉史料館は広島県呉市にある海上自衛隊の広報を目的とした施設で、愛称は「てつのかじら館」。2007年4月5日より一般公開された。

展示は海上自衛隊の歴史や装備品の紹介などで、1階部分が海上自衛隊の歴史、2階が掃海艇の活躍、3階が潜水艦の活躍などとなる。

そして、展示の目玉は国内では初めてとなる実物の潜水艦の屋外展示で、この潜水艦は実際に海上自衛隊で就役していたゆうしお型潜水艦の「あきしお」(SS-579)で、「あきしお」は2004年3月に除籍となった後、展示用に内部機器の交換や汚れを落とすなどし、2006年9月24日から26日に建設中の呉史料館への搬入が実施された。この様子はマスコミでも報じられ、巨大な船体などは関心をよんだ。この「あきしお」は展示の一環として艦内にも入ることができる。

潜水艦「あきしお」

展示用潜水艦あきしお

AKISHIO SS-579

昭和60年に進水した、ゆうしお型潜水艦「あきしお」は、さまざまな任務を遂行し、平成16年3月に除籍。同11月に国内最大の起重機船（クレーン船）に引き揚げられ、呉史料館に展示されました。

経歴

昭和58(1983)年4月15日 三菱重工業株式会社神戸造船所において起工
昭和60(1985)年1月22日 命名、進水式
昭和61(1986)年3月5日 就役、第1潜水隊群第1潜水隊に配属
平成 2(1990)年6月8日 第5潜水隊に所属替え
平成16(2004)年3月3日 除籍

要目

基準排水量：2,250t
長さ：76.2m
幅：9.9m
深さ：10.2m
船型：完全複殻式(涙滴型)
主機械：ディーゼル2基 1軸
メインモーター1基
馬力：水上3,400PS 水中7,200PS
速力：20ノット(水中)
主要兵装：水中発射管一式
スノーケル装置
乗員：75名



瀬戸内海を航行中の潜水艦「あきしお」

潜水艦「あきしお」



3段ベッド。ベッドの下が下着などの荷物を
入れる収納スペース



呉市 一般会計予算

平成16年度 一般会計予算

区分	金額(千円)	割合
総額	100,397,969	100%
観光関係歳入	187,685	0.2
観光関係歳出	402,787	0.4

歳入内訳	
観光振興課分	174,893
入船山記念館分	12,792

歳出内訳	
観光費	368,535
入船山記念館分	34,252

平成19年度 一般会計予算

区分	金額(千円)	割合
総額	103,945,000	100%
観光関係歳入	489,341	0.5
観光関係歳出	924,286	0.9

歳入内訳	
観光振興課分	370
観光施設課分	58,360
入船山記念館分	48,808
海事歴史科学館分	381,803

歳出内訳	
観光費	331,254
入船山記念館分	29,171
海事歴史科学館分	563,861

海軍兵学校



海軍兵学校(1876年 - 1945年)

明治から昭和の太平洋戦争終戦まで存続した大日本帝国海軍の海軍将校の養成を目的とした教育機関

海上自衛隊 幹部候補生学校



江田島における海上自衛隊第54期幹部候補生および第56期飛行幹部候補生の卒業式にて

- ・国際社会に活躍できる人づくりの必要性
- ・国防意識の高い人材を育成

富士山かぐや姫学会

富士山かぐや姫学会の活動の目的

富士の地に昔から伝わる全国的に有名な「かぐや姫伝説」を一大ブランドに位置付け、かぐや姫伝説にまつわる活動を市民活動として全国に情報を発信し、「夢、ロマンと愛のある町」に相応しい町の活性化と文化、芸術の向上の一助に資する。



春の雅
くかぐや姫のいざない

富士山かぐや姫

日時：5月11日(金) 18:30～21:00 (開場 18:00/開演 18:30)
場所：富士市文化会館 (ロゼシアター) 小ホール

主催 / 富士山かぐや姫学会

プログラム

第一部 (18:30～19:10)
～日本の伝統美～
「平安朝の十二単きもの絵巻と生活」
東海きもの学院長 鈴木 かほる
平安朝の華やかな装束をまとい、
どのような生活をしていたのか…

第二部 (19:15～19:55)
～日本古来の竹笛～
篠笛「かぐや」
藤舎理生
日本で有数の篠笛奏者で、その音色は深い平安の
音が響けられる。

(休憩時間 15分)

第三部 (20:10～21:00)
～かぐや姫伝説基調講演～
「古典にみる富士山とかぐや姫伝説」
国学院大学講師 城崎 陽子

富士山

竹林

かぐや姫の郷

富士山かぐや姫学会

富士山かぐや姫学会の活動の目的

富士の地に昔から伝わる全国的に有名な「かぐや姫伝説」を一大ブランドに位置付け、かぐや姫伝説にまつわる活動を市民活動として全国に情報を発信し、「夢、ロマンと愛のある町」に相応しい町の活性化と文化、芸術の向上の一助に資する。



富士山かぐや姫学会



祝 ユネスコ世界文化遺産暫定リスト登録

「パンの缶詰」「ケーキの缶詰」

呉モデルを参考とした文化、街おこし

1. 富士市富士宮市を含めた地域の新たな街起こしを創造、世界に発信。
2. 無から有を生む精神の育成およびモデル化へのチャレンジ
3. 一村一品運動 登頂記念ラベル(具体的なアクション)

今後、株式会社岡根谷は、防衛省御用達業者として、自衛隊とともに国防及び国際貢献をしていく所存です。